

「繊維の未来をつむぐ：サステナブルビジネスへの挑戦

—製造者のそのイト（意図/糸）は消費者に届くのか？—

繊維者目線とは異なる視点からも業界の未来を一緒に考えてみませんか？



登壇者：北川 愛子氏（SDGsの視点）

福井県 未来創造部 SDGsディレクター
福井市生まれ。県外の大学を卒業後、2008年に福井県庁に入庁し、2023年にSDGsディレクターに就任。プライベートでは、2児の母。
県内のSDGsパートナー登録企業・団体等を訪問し、連携のニーズやシーズ、解決すべき課題を発掘。新たなビジネスチャンスや地域課題の解決につながるコラボ事業の企画立案等に取り組んでいる。
本研修会では、SDGsとしての視点から、繊維王国福井において消費者の行動変容を進めていくことの重要性について見解を述べる予定。



登壇者：木下 誠也氏（アパレルの視点）

株式会社ドラフト 管理課 課長
越前市(旧今立町)生まれ。福井大学大学院を修了後、あわら市の株式会社ドラフトに入社し、人事総務、広報、経理の実務者、リーダーを経て2024年改組で管理課 課長に就任。
アパレル製品を自社ブランドで企画展開し、販売だけでなく顧客に寄り添う提案(デジタルホスピタリティ)のサービスを提供している。個人で、地域活動におけるクラウドファンディング施策や防災士としての講演等も行っている。
本研修会では、アパレル産業の視点から、製造者と消費者をつなぐ販売者としての見解を述べる予定。



登壇者：今村 善信氏（サプライチェーンの視点）

本部協力会 事業インキュベート部会 副部会長
大電産業株式会社 代表取締役社長
福井市生まれ。大学院修了後、2005年に大電産業株式会社に入社し、2017年に代表取締役社長に就任。
電気・通信・制御のエンジニアリング商社として、福井県内の多くの製造業と、繊維産業を含む幅広い分野で直接・間接的に連携し、製造現場の改善や生産性向上に貢献している。
本研修会では、流通の視点から、繊維アップサイクルと新たなビジネスの可能性について見解を述べる予定。

話題提供：竹本 拓治（教育と事業創出の視点）

福井大学 産学官連携本部協力会 事業インキュベート部会長
地域創生推進本部 附属創生人材センター センター長/教授

2024年10月28日（月）

13：00～14：30（12：45 受付開始）

文京キャンパス

共用講義棟 1F K110 教室

本部協力会 会員企業様 対象（参加無料）

※ご参加いただける場合は、

office@hisac.u-fukui.ac.jp まで、

①御社名、②参加者名（複数名可）をご連絡ください（10月25日（金）まで）。



16番の1階です！



・事業インキュベート部会は、業種を問わず、これからの企業経営を考えていく部会です。協力会員企業様、および協力会へのご参加を検討いただいている企業様ならどなたでもご参加いただけます。

・経営者はもちろん、管理職・若手リーダーの方にも適した内容です。後半は話題提供者と登壇者による対話形式で実施いたします。ご出席いただく企業会員様も、当日は積極的にご意見・コメントを頂ければ幸いです。また、福井大学関係者(教職員・大学院生・学部生)も参加可能としております。